

FUJITSU 退職給付債務管理ソリューション SUPER BENECAI

お客様事例紹介 一般財団法人太田綜合病院



一般財団法人 太田綜合病院

Ohta General Hospital Foundation

● お客様



【所在地】 福島県郡山市西ノ内2-6-18
 【設立】 昭和26年10月6日
 平成25年4月1日 <公益法人制度改革に伴い一般財団法人へ移行>
 【関連施設】 太田西ノ内病院、太田熱海病院、
 太田看護専門学校 等



退職給付債務（PBO）の計算が必要となったきっかけを教えてください。

公益法人制度改革に伴う「一般財団法人」への移行に際し、大規模法人ということでPBOの算定が義務付けられたのがきっかけでした。その当時は、SUPER BENECAIのような自社計算用ソフトの存在を知らなかったため、何社か計算委託先を検討した結果、最もコストメリットのある会社に委託しておりました。

会計基準の改正等もあり、計算を依頼し始めた当初から比べると徐々に料金も上がり、毎年の委託費用を節約できないかと考えておりました。



副理事長
法人運営推進本部 本部長
太田 善雄 様

SUPER BENECAIとの出会いを教えてください。

SUPER BENECAIとの出会いは偶然です。2016年の夏に東京で大規模な人事・総務向けのソリューション展示会があり、たまたま立ち寄った富士通のブースで見かけたのが出会いでした。

先ほども申し上げた通り、PBO計算を自社で計算できる仕組みがあるとは思っていなかったのが最初はとても驚きました。しかし、お話を伺ってみるとそれほど現場の負担が増えることなく、毎年掛け捨てになっていたコストが大幅に削減できる仕組みだということが分かりましたので、真剣に検討することにしました。



法人運営推進本部
総務部人事課 課長
遠藤 裕一 様

数あるソフトの中でSUPER BENECAIを選んだ決め手を教えてください。

検討したどのソフトも、当法人の担当会計士からの評価は高く、PBOを自社内でタイムリーに算定するという結果の面については、それほど大きな差が無いように思えました。

しかし、肝心の計算結果を得るまでのプロセス、つまり、システム操作の面では大きな差がありました。デモの際に実際の操作を見せてもらいましたが、SUPER BENECAIは操作がシンプルで直感的に分かりやすいという点が非常に魅力的でした。他の業務と異なり、PBO算定は日々行う業務というわけではなく、基本的には年に1~2回行うだけなので、操作はシンプルであればあるほど良いというのが現場職員の共通意見でした。

また、他社ソフトと比較し、メニュー画面の見やすさ、メニュー構成の分かりやすさもユーザー側の視点に立った作りとなっていると感じました。

何よりもこれからお付き合いをしていく中で、どのソフト会社の担当の方と仕事をしたいか考えた時に、デモの際に好印象だった富士通の方の顔が思い浮かびました。



法人運営推進本部
総務部人事課 係長
内山 恭子 様



法人運営推進本部
総務部人事課 主任
濱崎 翔 様

ソフトへ切替えたことで気付かれたことを教えてください。

「以前は不安だった」

いま考えてみると、以前は計算結果が本当にあっているかどうか不安でした。もちろん外部の専門家にお墨付きをもらっているの
で大丈夫だとは思っていましたが、外部に計算を任せていると自分達では検証のしようがないことに不安を抱えていました。

また、計算を依頼してから結果が返ってくるまで時間が空くので、その間は決算への影響程度が分からず不安でした。

SUPER BENEICALを使い始めて、人事データと計算の基準日を同一と出来るようになったことで補正計算が不要になったことは
現場の負担軽減になっております。まだ導入したばかりなのでまだまだ全ての機能を使いこなせているわけではありませんが、将来的
には様々なシミュレーションへの活用も検討しています。

導入時には会計士からの質問があったようですが富士通の対応はいかがでしたか？

「会計士からの細かい質問についても即座に対応」

システムから出力される帳票数値の算定式など、会計士からの細かい質問についても即座に対応していただき、
また会計士が納得する様子も間近に見ていたのでサポートは安心だなと感じました。

当初は今年度の決算数値は従来の委託計算の数値を利用し、SUPER BENEICALへの切替えは余裕を
持って来年度決算からの予定でしたが、会計士からの信頼を得ており、またシステムの操作にもすぐに慣れたため、
今年度から決算数値の算定に利用しました。



導入時に苦労された点はありますか？

以前の委託計算では計算に使う基礎率の見直しが5年に1度でしたので、基礎率算定
に必要なデータの提出を毎期求められていたわけではありませんでした。今回はデータ作成
の仕組作りをゼロから構築するという点については苦労しましたが、一度構築し
てしまえば来期以降は単純作業となりますので問題ありません。



SUPER BENEICALに今後期待することをお聞かせください。

今はまだ導入直後ということもあり、決算数値の算定で手一杯の状態ですが、今後は定年退職者の退職金予測
などPBO計算以外の分野でも活用できればと考えておりますので、その際には改めてサポートをお願い致します。

また、年1回の処理ということもあり、私達だけでは最新の動向に注意を払うのが難しいため、これからも情報提供と
コミュニケーションを密に取っていただくと助かります。将来的な法改正やOS対応時のスムーズな移行サポートにも
期待しております。

※ SUPER BENEICALとは・・・

決算に必要な退職給付関連数値算定だけでなく、最大20年間の中長期予測機能や各種シミュレーション・分析機能を装備し、導入実績570社を超えるお客様にて
決算数値算定及び経営管理ツールとしてご活用頂いている退職給付債務管理パッケージです。

国内基準はもとよりIFRSにも対応しており、決算の他、予算管理・事業計画・キャッシュフロー予測・制度変更影響分析・人事管理など幅広い目的で活用可能です。
担当制サポートにより通常のサポートのみならず監査対応も安心です。

サポート担当者



富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部
花岡 裕美

営業担当者



富士通Japan株式会社
東北支社
ヘルスケア営業部
高田 拓希

SUPER BENEICAL導入から現在まで

【退職給付制度】
退職金制度

【監査法人】
渡辺公認会計士事務所

【SUPER BENEICAL 導入検討過程】
2016年8月 PBO計算システム検討開始
2017年1月 SUPER BENEICAL導入決定
2017年3月 SUPER BENEICAL導入作業完了
2017年4月 決算数値として利用開始

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部 退職給付会計チーム
E-mail : contact-benecal@cs.jp.fujitsu.com

ご案内担当